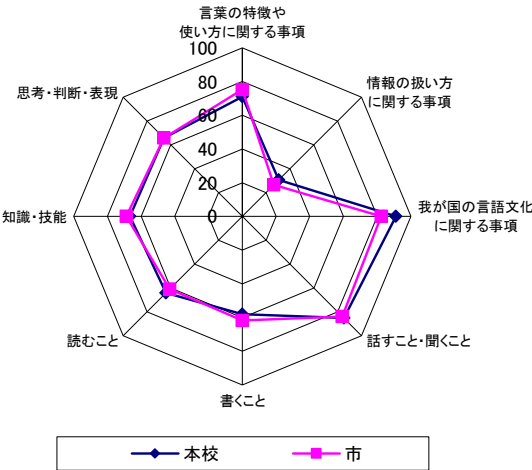


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	71.0	75.3	77.1
	情報の扱い方に関する事項	30.6	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	91.1	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	85.2	83.9	84.2
	書くこと	58.0	61.7	64.5
	読むこと	64.1	60.9	61.0
観点別	知識・技能	66.7	68.8	70.3
	思考・判断・表現	65.9	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	平均正答率は、市の平均を4.3ポイント下回っている。 ○文と文の接続関係を理解しており、正答率が71.1ポイントと市の平均よりも高い。 ●設問で見ると、漢字の読みの正答率が高いものの、漢字の書きの正答率が低い。 ●敬語について理解し、正しく使い分ける問題の正答率が低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字の読み書きを学習する際、言葉の使い方を意識しながら練習させる。 ・敬語を正しく使い分けられうように、授業だけでなく日々の生活の中でも指導していく。
情報の扱い方 に関する事項	平均正答率は市の平均を4.1ポイント上回っているが、30.6%と低い。 ●情報の要点を捉えたり、段落相互の関係を捉えたりすることに課題がみられる。	・文章を最後まであきらめずに読み、重要なキーワードを見落とさずに段落と段落の関係が正しく捉えられるよう指導する。 ・情報と情報との関係について理解したり、情報を正しく読み取ったりしたことを自分の言葉で簡単に表現する場を意図的に設定していく。
我が国の言語文化 に関する事項	平均正答率は、市の平均を8.7ポイント上回っている。 ○正答率が91.1%と高い。語句の由来に関心をもち、和語・漢語・外来語について理解している。	・語句の由来に関心をもち、和語・漢語・外来語について理解できるように継続して指導をしていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均を1.3ポイント上回っている。 ○選択問題では市の平均正答率を2～3ポイント上回っている。 ●記述問題では、市の平均をポイント下回っている。 ●話し手が伝えたいことを的確に捉えることが苦手な傾向にある。	・話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるように、必要なことを記録したり、質問したりしながら聞く機会を設ける。
書くこと	平均正答率は、市の平均を2.7ポイント下回っている。 ○目的や意図に応じて、書き表し方の工夫を考えることができる。 ●指定された長さで文章を書くことが十分ではない。 ●自分の考えを理由を明確にして書くことが苦手な傾向がある。	・国語の学習だけでなく、各教科で自分の考えを持ち、その意見に反論された場合も、自分の意見を論理的に述べられるような具体的な場面を設ける。 ・指定された条件に従って文章を書く機会を増やす。
読むこと	平均正答率は、市の平均を3.2ポイント上回っている。 ○物語文の読み取りでは、市の平均正答率より5ポイント以上高い。物語文を読み、その大体の内容を的確に捉えることができる。 ●説明文の読み取りでは、市の平均正答率を約2ポイント下回っている。説明文の文章全体の構成を捉えたり、情報を整理したりすることが苦手な傾向にある。	・相互関係に着目して全体の構成を捉えながら文章を読んだり、目的に応じて中心となる語や文を見つけて要約したりする機会を意図的に設定していく。